

EGOTERIC

MG-10/MG-20

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

ご使用の前に

安全にお使いいただくために

あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。



以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



強制 アンプなどに接続する際は、接続する機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。

また、接続は指定のコードを使用する。



強制 電源を入れる前には音量を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



強制 MG-20は15kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際にはけがをしないよう注意する。



禁止 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、または振動の多い場所に置かない。

落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止 長時間音が歪んだ状態で、使用しない。スピーカーユニットが発熱し、火災や損傷の原因となることがあります。

使用上の注意

- エンクロージャーや前面グリル部に硬いものを当てないでください。傷がついたり、スピーカーユニットが損傷する恐れがあります。
- 本機は防磁型ではありません。テレビやコンピュータのモニターから、1.5m以上離して置いてください。また、本機の上に磁気記録のカード類（キャッシュカードや定期券など）、テープ類（ビデオテープやカセットなど）、ディスク類（フロッピーディスクやMDなど）、および磁気の影響を受けやすい物を置かないでください。磁気により、データの消失や破損の原因となります。
- アンプからの入力とは適正な範囲でお聴きください。過大な入力は、スピーカーユニットを破損する恐れがあります。また、許容入力以下であっても、クリッピングノイズなどの多い信号はスピーカーユニットに悪影響を与えます。アンプ側でも音が歪まないようにご注意ください。

設置上の注意

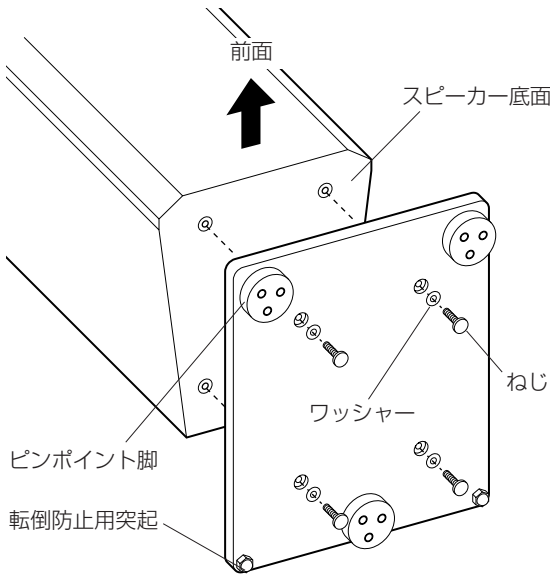
- 直射日光があたる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所に設置しないでください。損傷の原因となります。
- 加湿器のそばなど、湿度が高い場所に設置しないでください。また、油煙があたる場所には設置しないでください。損傷の原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動する場所などには設置しないでください。落下したり倒れたりして、けがや損傷の原因になります。
- 周囲に反射や共振を起こす物が無いことが理想です。ガラス戸などがある場合、共振を起こすことがあります。共振がおきないようにしっかり固定するか、厚めのカーテンなどで吸音させてください。また、平行した壁面では定在波が起きやすいため、家具を配置して平行を崩したり、厚めのカーテンなどで吸音させてください。
- スピーカーシステムと聴取位置の間には、物を置かないでください。物があると直接音が遮られ、音質が変わる原因となります。

設置

スピーカーベースの取り付け(MG-20)

MG-20を設置する前に、付属のスピーカーベース(STD-MG20)を取り付けてください。

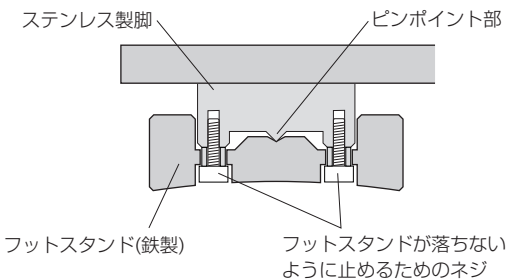
1. 傷がつかないように床に毛布などを敷き、スピーカーを横に寝かせます。
2. 付属のスピーカーベースと本体底面のねじ穴を合わせ、付属のねじを締め込んで取り付けます。
● ねじを強く締めすぎないでください。ねじ穴を破損する恐れがあります。



脚について

スピーカーベースの底面には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。

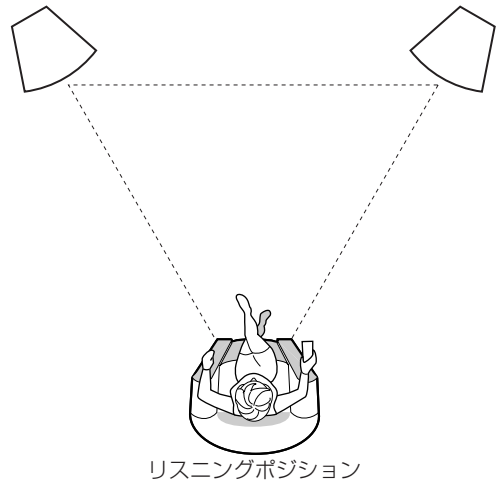
脚はぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



設置位置

一般的にステレオ再生の場合、左右のスピーカーは聴取位置を頂点として正三角形または二等辺三角形を形成する位置に設置します。

リスニングルームの広さや音響特性などによって異なりますが、後ろの壁面から20~30センチ離して設置し、低音の響き方を確認しながら位置を調整してください。



⚠ 注意

MG-20用スピーカーベースと、MG-10用スピーカースタンドは、ピンポイント脚の三点支持です。スピーカーが倒れたりしないように十分ご注意ください。

MG-10には、別売のスピーカースタンド(STD-MG10)が用意されています。

接 続

スピーカーケーブルについて

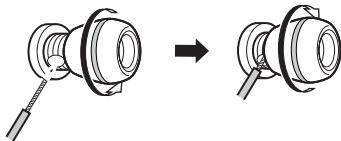
- 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

接続のしかた

- 接続の前に、必ずアンプの電源を切り、音量を絞ってください。

より線/スリーブの場合

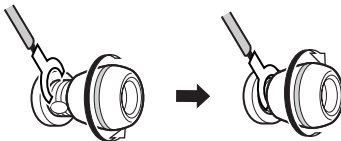
ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。



Yラグの場合

ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。

- ラグ端子で接続する場合は、内径8mmのものをお使いください。

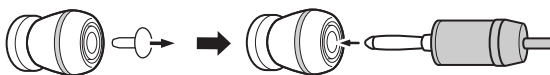


バナナプラグによる接続

接続の際にバナナプラグを使用すると、プラグを差し込むだけで簡単に接続できます。

スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、ターミナルのキャップを外し、プラグを入力ターミナルに差し込みます。

- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

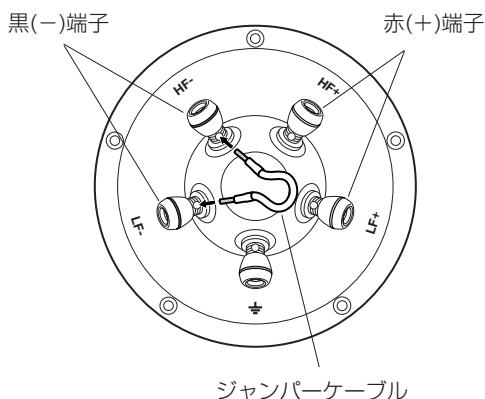


ノーマル接続

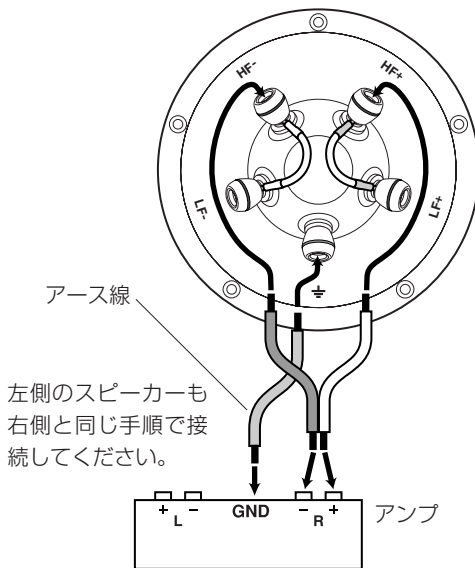
ノーマル接続(モノワイヤー接続)するためには、付属のジャンパーケーブルで、2つずつある赤(+)端子同士、黒(-)端子同士を接続してください。

その後、LF+(低域用+)端子またはHF+(高域用+)端子とアンプの(+)端子、LF-(低域用-)端子またはHF-(高域用-)端子とアンプの(-)端子を、スピーカーケーブルで接続してください。基本的にはHF(高域用)端子との接続をおすすめします。

1. +と+、-と-をジャンパーケーブルでつなぐ

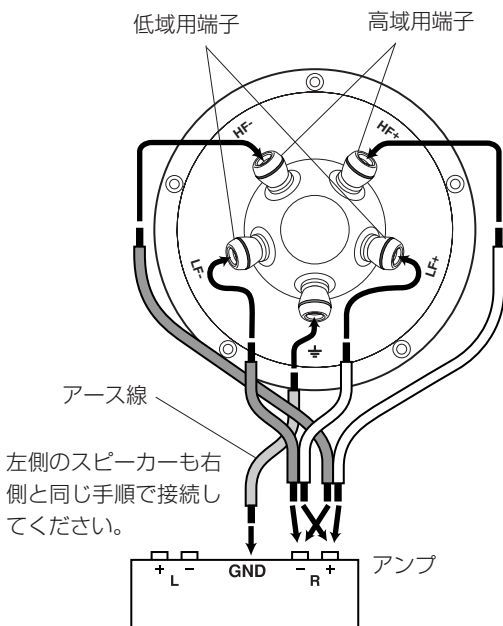


2. アンプと接続する



バイワイヤリング接続

- 本機の性能をより引き出すために、バイワイヤリング接続をおすすめします。
2つずつある赤端子と黒端子の下側が低域用(LF+およびLF-)、上側が高域用(HF+およびHF-)です。低域用、高域用それぞれ一対のケーブルを使用して、赤(+)端子とアンプの(+)、黒(-)端子とアンプの(-)を接続してください。
- 高域用と低域用のスピーカーケーブルは、同じ長さのものを使用してください。
- ジャンパーケーブルは使用しません。



アース接続について

- アース接続は、緑(⚡)端子と、アンプのアース端子またはシャシーに直接アース線で接続します。
または、スピーカーケーブルにシールド線を使用している場合は、シールドを緑(⚡)端子とアンプのアース端子またはシャシーに接続します。
- 本機をマルチアンプ駆動する場合には、アース接続は高域用アンプとのみ行ってください。低域用アンプとアース接続した場合、ハムノイズが発生することがあります。

位相チェック

- 左右のスピーカーの極性(+・-)が一致していないと、位相が合わないために、正しいステレオ再生音が得られません。位相チェックは、低音がよく入っているプログラムソースを左右のスピーカーからモノラルで出して聴き比べます。
- 位相が合っている場合は、低音が豊かによく出て、音像が左右のスピーカーの中央に定位します。位相が合っていない場合は、低音が出ず音像がぼやけて定位しません。このような場合は、スピーカーとアンプ間の接続の極性(+・-)を確認してください。
一方だけ、極性を逆に接続しなおすと正しい位相になります。

お手入れ

- エンクロージャーの木部は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、強く絞った柔らかい布で水拭きしてください。
一般の床用ワックスや化学ぞうきん、またはベンジンやシンナー系の液体などでは、絶対に拭かないでください。エンクロージャー表面の変色やひび割れなどの原因になることがあります。
- グリルに付いたほこりは、洋服用のブラシなどで取ってください。
本機の前面グリルはラッチで固定されており、取り外すことができます。
- エンブレムは柔らかい布で拭いてください。金属磨きなどは使用しないでください。表面を傷つける恐れがあります。

仕 様

MG-10

エンクロージャー型式 バスレフ式(フロントポート)
仕様ユニット
165mm(6.5インチ)バス(マグネシウムダイヤフラム)
25mm(1インチ)ドームツイーター
(マグネシウムダイヤフラム/ネオジウムマグネット)
能率(W/m、1kHz) 87.5dB
連続許容入力(RMS) 75W
最大許容入力(瞬間) 300W
推奨アンプ出力 20~120W
入力インピーダンス 6Ω(最小3.8Ω)
クロスオーバー周波数 1.9kHz
周波数特性 41Hz~44kHz (-6dB)
エンクロージャー容積 13 ℓ
外形寸法(W×H×D) 216×440×271mm
質量 7.5kg/台
付属品(2台/1梱包につき)
ジャンパーケーブル×4
ご愛用者カード×1
取扱説明書×1

MG-20

エンクロージャー型式 バスレフ式(フロントポート)
仕様ユニット
165mm(6.5インチ)バス(マグネシウムダイヤフラム)
25mm(1インチ)ドームツイーター
(マグネシウムダイヤフラム/ネオジウムマグネット)
能率(W/m、1kHz) 89dB
連続許容入力(RMS) 90W
最大許容入力(瞬間) 360W
推奨アンプ出力 20~170W
入力インピーダンス 6Ω(最小3.7Ω)
クロスオーバー周波数 1.9kHz
周波数特性 38Hz~44kHz (-6dB)
エンクロージャー容積 21.5 ℓ
外形寸法(W×H×D) 216×1060×271mm
質量 15kg/台
3.9kg/台(スピーカーベース)
付属品(1台につき)
ジャンパーケーブル×2
ご愛用者カード×1
取扱説明書×1
スピーカーベース×1 (別梱包)
スピーカーベース取付ねじ×4 (別梱包)
ワッシャー×4 (別梱包)

- 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から一年です。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - メンテナンス
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有していません。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

- 型名：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

<http://www.teac.co.jp/av>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。